



# 都商事株式会社 環境活動レポート

(ecoアクション21:2009年版ガイドライン適用)

第1版:2017年7月20日発行(2016年7月1日～2017年6月30日)



## ● ● 目 次 ● ●

1. 始めに
2. 組織の概要(事業所名、所在地、事業の概要、事業規模)
3. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日
4. 環境方針
5. 環境目標
6. 環境活動計画
7. 環境目標の実績
8. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
9. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無
10. 代表者による全体評価と見直しの結果

## 1. 始めに

本書発行に際し、ご協力頂いた関係者の皆様へ、この場を借り厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。刊を重ねるたびに、本書の精度が高まるよう日々精進してまいります。今後とも、ご教授ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

尚、本書「都商事株式会社 環境活動レポート」の参考資料として、弊社公式websiteとして「<http://miyakoshoji.jp/>」にて、弊社情報を公開しております。

本書をご理解いただくうえで参考になれば幸いです。

都商事株式会社

代表取締役 宮原一成

編集担当 井道敦史

編集担当 青木みどり



## 2. 組織の概要(事業所名、所在地、事業の概要、事業規模)

### (1) 事業所名と所在地

- ① 都商事 本社・半左衛門工場: 静岡市清水区半左衛門新田30番地: 3,245㎡
- ② 都商事 村松工場: 静岡市清水区村松310番地: 600㎡
- ③ 都商事 家電リサイクルセンター: 静岡市清水区半左衛門新田54番地: 1,500㎡
- ④ 都商事 堀込工場: 静岡市清水区堀込26番地: 1,031㎡

### (2) 事業の概要

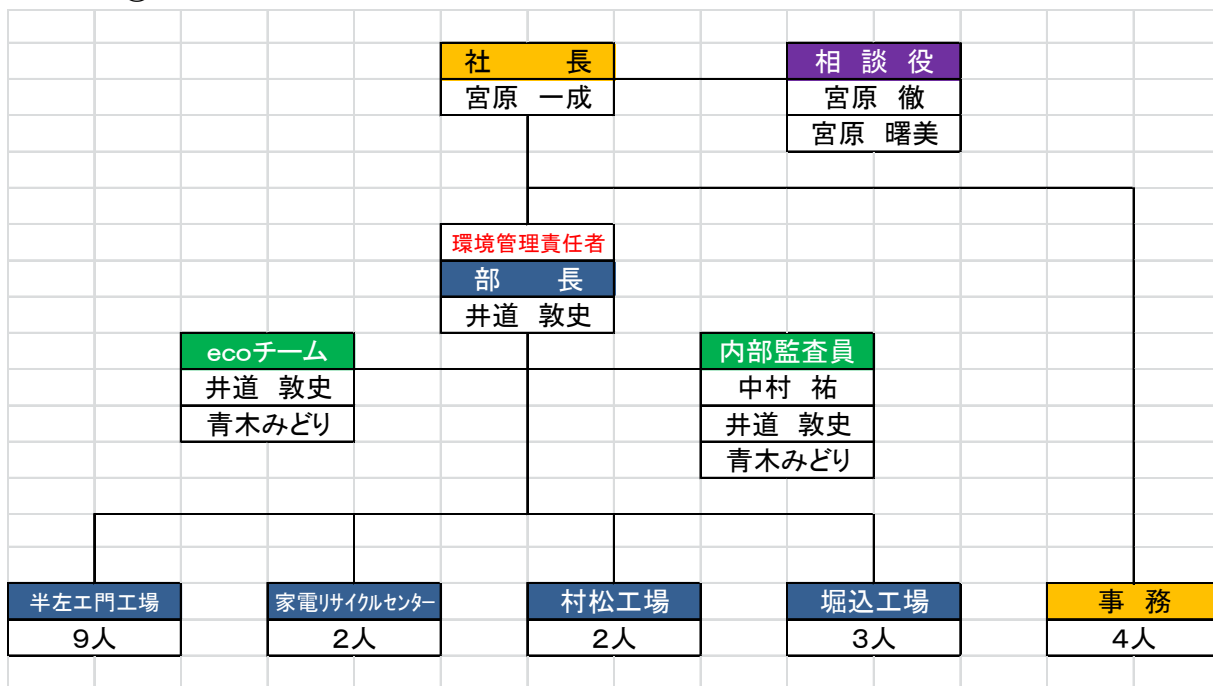
- ① 金属リサイクル業(古物商・金属くず商)
- ② 産業廃棄物収集運搬業
- ③ 産業廃棄物処分業(中間処分: 破碎、切断、選別)
- ④ 家電リサイクル指定引取場所
- ⑤ 自動二輪リサイクル指定引取場所
- ⑥ フロン類回収業
- ⑦ 計量証明事業
- ⑧ 自動車リサイクル引取業・破碎業



### (3) 事業の規模

- ① 創業: 昭和30年10月 法人設立: 昭和42年7月
- ② 資本金: 1,000万円
- ③ 第50期(2016年7月1日～2017年6月30日)売上高: 923,976千円
- ④ 受託した産業廃棄物の処理量(2016年7月1日～2017年6月30日)  
収集運搬量: 368t  
中間処理量: 3109t
- ⑤ 従業員数: 24名
- ⑥ 事業所延べ床面積(上記のとおり)

⑦ 組織図



⑧ 許認可について

【産業廃棄物収集運搬業(静岡県)】

許可番号:02201010963 許可品目:廃プラスチック、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、紙くず、木くず、繊維くず

許可年月日 :平成28年9月27日

許可有効期限:平成33年9月26日

【産業廃棄物処分業(静岡市)】

許可番号:06222010963 許可品目:廃プラスチック、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、紙くず、木くず、繊維くず

許可年月日 :平成25年11月25日

許可有効期限:平成30年11月24日

【廃棄物再生事業者登録】登録番号:廃再第55号 登録年月日:平成16年8月10日

【古物商】登録番号:第851号 登録日:昭和45年8月3日

【金属くず商】登録番号:第233号 登録日:昭和55年11月25日

【計量証明事業登録】登録番号:第41-2号 登録日:平成5年11月1日

【家電リサイクル指定引取場所】管理番号:指定引取場所第86号 認定年月日2001年4月1日

【二輪車リサイクル指定引取場所】認定年月日平成16年8月1日

【フロン類回収事業者】登録番号:100351 登録日:平成24年10月10日/有効期限:平成29年3月29日

【自動車リサイクル引取業】登録番号:20621000307登録日:平成年9月17日/有効期限:平成31年9月16日

【自動車リサイクル破碎業】許可番号:20626000307許可年月日:平成26年7月1日/有効期限:平成31年6月30日

⑨ 産業廃棄物中間処理実績(2016年7月1日～2017年6月3

廃プラ 破碎:2,768t、ガラス・コンクリート・陶磁器破碎:271t、がれき1.7t、木くず紙くず68t

⑩ 車両・重機・フォークリフトについて

10t ダンプ車	2台
10t アームロール車	1台
10t HIAB車	1台
7t HIAB車	1台
7t HIAB・MULTILIFT車	1台
4t HIAB・MULTILIFT車	1台
4t MULTILIFT車	1台
4t UNIC車	1台
4t 平ボデー車	1台
2t パワーリフト車	1台
重機	8台
フォークリフト	9台



⑪ 設備について

【シュレッダー】

MEIWAKIKAI MIYA-1

【ギロチン】

MS-1000-125

【プレス機】

KSP 80-2

【ナゲット機】

PMG-E600+SIMCRO530C



⑫ 処理能力について

1 破碎

廃プラスチック類	4.75 t/日
鉄屑くず	19.40 t/日

2 破碎

廃プラスチック類	24.00 t/日
鉄屑くず	32.00 t/日
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	40.00 t/日
がれき類	40.00 t/日

3 切断

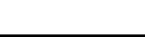


廃プラスチック類	1.51 t/日
紙くず	0.84 t/日
木くず	1.85 t/日
繊維くず	0.53 t/日
金属くず	196.11 t/日
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	4.98 t/日
がれき類	4.98 t/日

4 選別

廃プラスチック類	2.08 t/日
紙くず	1.20 t/日
木くず	2.56 t/日
繊維くず	0.72 t/日
金属くず	138.72 t/日
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	6.88 t/日
がれき類	6.88 t/日

⑬ 廃棄物のフロー図について

### 処理フロー図(破碎)

<凡例>	
	作業
	機械
	回収有価物
	ダスト



### 3. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

#### (1) 対象範囲

- ① 認証・登録範囲は: 上記事業所4か所の全てとする。
- ② 環境活動レポートの対象期間: 表紙に記載

### 4. 環境方針

以下を活用します。

## 経営理念 みんなの未来

### 経営指針

- 一、私たちは明るい職場づくりに努めます。
- 一、私たちは地域から信頼される企業を目指します。
- 一、私たちは常に資源のリサイクルに取り組みます。

### 環境方針

- 一、金属&その他資源のリサイクルに取り組みます。
- 一、省エネ活動に取り組み二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 一、環境関連法規制、及びその他の順守に取り組みます。
- 一、継続的改善(PDCA)を活用しこれらに取り組みます。

### 経営方針

- 一、月間総出荷量安定して出荷する。
- 一、自社に適用される法規制を順守する。
- 一、利害関係者からのニーズ・期待に応える。

2016年4月1日 制定  
都商事 株式会社  
代表取締役 宮原 一成

5. 環境目標

運用期間:平成29年度(平成28年7月～平成29年6月)の目標値・実績対比

項目	単位	基準期間(A)	H28.7～H29.6(B)	運用期間(C)	C/B対比%	
		基準値	目標値	実績		
総出荷量	t	20,980	22,030	22,209	100.8	
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	503,765.67	555,156	551,813.95	99.4	
原単位(総出荷量あたり)	kg-CO <sub>2</sub> /t	24.0	25.2	24.8	98.6	
内訳	購入電力	kWh	453,254	511,096	511,305	100.0
		kWh/t	21.6	23.2	23.0	99.2
	A重油	L	5,094	4,847	4,787	98.8
		L/t	0.24	0.22	0.22	98.0
	LPG	kg	146	154	137	88.7
		kg/t	0.006	0.007	0.006	85.7
	ガソリン	L	5,355	5,287	5,938	112.3
		L/t	0.26	0.24	0.27	111.4
	軽油	L	93,194	92,967	99,967	107.5
		L/t	4.44	4.22	4.50	106.7
産業廃棄物排出量	t	5,520		4,486		
産業廃棄物リサイクル率	%	100	100	100	100.0	
一般廃棄物排出量	t	1.2		1.2		
一般廃棄物リサイクル率	%	100	100	100	100.0	
水使用量	m <sup>3</sup>	834	800	923	115.4	
グリーン購入の推進	—				現状把握	

購入電力の二酸化炭素排出係数は、中部電力(平成25年度)の「0.513kg-CO<sub>2</sub>/kWh」を使用。

基準値:平成28年度実績(平成27年7月～平成28年6月)

目標値:基準年度対比総出荷量1割増加をベースに環境負荷絶対値をスライドした目標設定

中期目標:3年後、基準年度実績の水準(総出荷量当たりの原単位指標)達成を目指す。

【環境目標対比実績の評価】

総出荷量はほぼ目標通りの実績となりました。

二酸化炭素総排出量は、目標値を達成していますが、ガソリン・軽油が目標未達となりました。

車両単位の燃費管理を強化します。



短期・中期の環境目標

項目	単位	基準年度	削減率等		
		H27/7～H28/6	H29年度	H30年度	H31年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	503,765.70			
原単位(総出荷量あたり)	kg-CO <sub>2</sub> /t	24.0	25.2	25.0	23.9
内訳	購入電力	kWh	453,254		
		kWh/t	21.6	23.2	23.0
	A重油	L	5,094		
		L/t	0.24	0.22	0.21
	LPG	kg	146		
		kg/t	0.007	0.006	0.005
	ガソリン	L	5,355		
		L/t	0.26	0.24	0.23
	軽油	L	93,194		
		L/t	4.44	4.22	4.12
産業廃棄物排出量	t	5,519.90			
産業廃棄物リサイクル率	%	100	100	100	100
一般廃棄物排出量	t	1.2			
一般廃棄物リサイクル率	%	100	100	100	100
水使用量	m <sup>3</sup>	834	800	800	800
グリーン購入の推進	—	- 現状把握			

(1/4) **総出荷量を安定して出荷できる体制を整える。**

弊社の本業は鉄及び廃棄物のリサイクルとなるため、弊社の総出荷量を目標値で安定させることにより、社会に循環させるリサイクルが増加されると見込まれる。社会の資源資材循環型経済の一翼を担えるよう、皆で協力し本目標値を達成していく。

(2/4) **二酸化炭素排出量の削減**

昨年度のデータ分析期間を経て、総出荷量1tあたりの二酸化炭素排出量を25.2kg以下とすることを目標とし、排出量削減に取り組んでいく。

(3/4) **電力使用を節約する。**

昨年度のデータ分析期間を経て、総出荷量1tあたりの処理電力を23.2kW以下とすることを目標とし、電力出来高を上げていくことに取り組んでいく。

(4/4) **車両・重機の燃料を節約する。**

半左工門で使用している重機3機について1時間当たりの燃料使用量を指数とし目標値を設定した。燃料出来高を上げていくことに取り組んでいく。

- ① 中型重機2台についての目標値: シュレ 8.3ℓ/h ・キロ 7.9ℓ/h
- ② 大型重機1台についての目標値: 15.9ℓ/h

## 6. 環境活動計画

### (1/4) 総出荷量を安定して出荷できる体制を整える。

【活動対象者】: 全社員

【出荷量をそろえる取組】

新規獲得: 営業及びドライバーが連携して獲得していく

リピーター: 事務所を中心に「次も来てもらう作戦」を展開

単価対応: 相場及び顧客要求のバランス良い視点で単価を設定

【進捗管理】ステップアッププログラム

### (2/4) 二酸化炭素排出量の削減

### (3/4) 電力使用を節約する。

【活動対象者】: 全社員

【主な活動として】

節電ルールの構築・ルール維持管理の徹底

【進捗管理】ステップアッププログラム

### (4/4) 車両・重機の燃料を節約する。

【活動対象者】: 有海・道興・哲也

【主な活動として】

アイドリングタイムの削減

荷積み荷卸しの効率化チャレンジ

【進捗管理】ステップアッププログラム

7. 環境目標の実績: 3ヶ月のテスト運用を経て7月に正式始動。1年間の実績及び2年目のフォロー確認後、目標設定の見直し可否を判断する。

## 8. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

【第一期: 2016年4～6月】

運用期間3ヵ月と短いこともあり、目標設定のためのデータ取り、仕組作りの修正に費やされた期間であったと評価できる。

【第二期: 2016年7月～2017年6月】

目標設定を基準年度実績に対し総出荷量1割アップをベースに策定しましたが、ecoアクション21取組の実質上の初年度実績はほぼ目標を達成した。個別の目標との差異分析を実施、PDCA管理を徹底し継続的改善を実現実行できるように次年度取組み内容を見直す。

【第三期: 2017年7月～2018年6月】

取組み、目標・実績・評価・分析の進捗度管理を徹底し、第二期の課題(ガソリン・軽油削減)改善に取り組み、目標を達成する。

9. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

No.	法規制名	内容概略	適用事業所			
			村松	半左	家電リサイ	堀込
1	フロン排出抑制法(回収破壊)	業務用空調機対象:四半期に1回 簡易点検実施	○	○	○	—
2	大気汚染防止法	・粉塵 物の破碎、選別その他の機械的処理 又は体積に伴い発生し、又は飛散する物質 ・ばい煙 燃料その他物の燃焼に伴い発生する 硫黄酸化物	○	○	○	○
3	水質汚濁防止法	・特定施設または貯油施設等の破損で油を含む 水が公共水域に排出又は地下浸透した時 応急処置を講じ、速やかに届出をする。	—	—	—	—
4	下水道法	下水道使用に関する法律	○	○	○	—
5	騒音規制法	敷地境界の騒音規制値 住宅地:昼間 55dB以下、夜間 45dB以下 工業地:昼間 65dB以下、夜間 55dB以下	○	○	○	○
6	振動規制法	・圧縮機・破碎機(7.5kW以上) ・住宅地基準:昼65dB/夜60dB ・工業地基準:昼70dB/65dB	○	○	○	○
7	廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・産業廃棄物収集運搬業・処分業の許可更新 ・排出者との委託契約締結 ・産業廃棄物の適正保管 ・マニフェスト管理・保管	—	○	—	—
8	建設リサイクル法 (建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律)	・建設工事に係る資材の再資源化等に関する 法律	—	○	—	—
9	家電リサイクル法 (特定家庭用機器再商品化法)	・特定家電用機器再商品化法	—	—	○	—
10	自動車リサイクル法 (使用済自動車の再資源化等に関する法律)	・自動車の廃車時に所有者がリサイクル料金の 支払いと使用済自動車の引取業者への引 渡しを行う	—	○	—	—
11	労働安全衛生法	作業の安全に関する法律	○	○	○	○
12	車両法	・道路交通法(免許管理・車検管理・安全管理)	○	○	○	○
13	計量法	・質量の公正な取引に関する法律	○	○	—	—
14	古物営業法	商品取引に関する法律	○	○	—	—
15	静岡市条例	静岡市で定める条例	○	○	○	○
16	浄化槽法	・法廷検査(水質検査など) ・保守点検(点検・修理など) ・清掃	—	—	—	—
17	シュレッダーダスト成分検査	・県指導値以下であること	—	○	—	—

\*eco法規制管理「法規制一覧」より抜粋。過去3年違反なし。訴訟なし。順守確認取れています。

2017年7月20日 環境管理責任者

## 10. 代表者による全体評価と見直しの結果

今回のレポートは第1版となります。長年ISO:14001で培ってきた環境活動を糧に、更にブラッシュアップすべく、ecoアクション21への切替を選択した初年度です。

目標、実績、評価、分析を徹底した1年でした。

これから第二期のアベレージを超えることを第三期の課題とし取り組んで参ります。

7月1日から始動することとなったecoアクション第三期について、PDCA管理を徹底し、レポート第2版で、意図した成果を達成できるよう、より良き環境パフォーマンスであるよう、全社員で精進していきます。

2017年7月20日

都商事 株式会社

宮原一成



半左エ門工場屋根設置ソーラーパネル